

このリストは、図書館の職員が、中学生のみなさんに
読んでほしい本を選んだものです。

品川図書館	北品川 2-3-2-3	☎3471-4667
二葉図書館	二葉 1-4-2-5	☎3782-2036
荏原図書館	中延 1-9-1-5	☎3784-2557
南大井図書館	南大井 3-7-1-3	☎3761-6780
源氏前図書館	中延 4-1-4-1-7	☎3781-6273
ゆたか図書館	豊町 1-1-7-7	☎3785-6677
大井図書館	大井 5-1-9-1-4	☎3777-7151
五反田図書館	西五反田 6-5-1	☎3492-2131
大崎図書館	大崎 2-4-8	☎3495-0660
八潮図書館	八潮 5-1-0-2-7	☎3799-1414

休館日、開館時間などは、各図書館におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、各出版社の許諾を得ています。

2015 . 10 発行

Let's Read!

中学生



「なりたい二人」
令文 ヒロ子 作
PHP 研究所

品川区立図書館

『なりたい二人』

令文 ヒロ子 作
PHP研究所



ちえりは、ムギこと^{たけよし}武儀と、幼なじみ。ちえりは背が高く、手足も長い。反対に、ムギは小さくてぽっちゃり体型。二人が並ぶとまるで、保育士と保育園児のようだと言われてから、ちえりはずっとムギのことを避けていた。ところが二人は中学一年生になって、「自分のなりたい職業」をペアで調べることになってしまったのだ。

『ルーシー変奏曲』

サラ・ザール 著 西本 かおる 訳
小学館

ピアノの天才少女として幼い頃から注目を集めていたルーシーだが、ある日突然、大事なコンテストの舞台を去ってピアノを辞めてしまう。このことがきっかけとなり、家族や友達との関係に悩むようになる。

周囲の期待と本当の自分とのギャップに苦しむルーシーの葛藤と成長が描かれた作品です。



『時速 47 メートルの疾走』

吉野 万理子 著
講談社



体育祭で最下位になったクラスの応援団長に課されたのは、逆立ちで校庭を一周するという罰ゲーム。そして疾走を決意した一人の男子がいた。その様子を見守る様々な立場の同級生たち。

誰もやりたくなどなかった罰ゲーム。目指すは、逆立ちで校庭一周。できるわけない。でも…、やるしかない。

『アイスプラネット』

椎名 誠 著
講談社

中学2年の原島悠太は、おじさんのぐうちゃんと一緒に暮らしている。悠太は、世界各国に行き写真を撮っているぐうちゃんの旅の話を聞くのが大好き。

北極圏の旅に出たぐうちゃんは、何を撮影する事に成功したのでしょうか。

この本を読んでいると自分も一緒に旅をしているようです。



『机の上の仙人 机上庵志異』

きじょうあんし い
机上庵志異

佐藤 さとる 著
ゴブリン書房



童話作家の机の上に、突如現れた小さな家。そこから出てきたのは、机上庵方寸という、二寸余りの小さな仙人と、小さな犬だった。作家が小さな犬を観察してみると、その犬は、作家の祖母が大切にしていた古い書物の中を出入りしているようだった。

机上庵先生が話してくれる不思議で奇妙な物語を読んでみませんか？

『風味 [さんじゅうまる]』

まはら 三桃 著
講談社

中学2年生の伊藤風味は、長崎街道で大正時代からつづく菓子屋「菓匠・一斗館」の娘。その「一斗館」に、菓子店が新製品を競い合う、グランプリ参加の誘いが舞い込み、風味一家の挑戦がはじまる。

「一斗館」の新製品とはどんなものなのか。そしてグランプリの結果は…。



『医者になりたい君へ 心臓外科医が伝える命の仕事』

須磨 久善 著
河出書房新社



「医者になって人を助けて喜ばせてあげたい」、14歳の夏に医者になろうと決意した須磨は、日本初となる難手術「バチスタ手術」を成功させる。

世界の一線に立つ須磨が、医療と人々、夢と現実、医学の可能性を綴る。

命と本当に向き合った時に、見えてくるものとは…。

『明日は海からやってくる』

杉本 りえ 作 スカイ エマ 絵
ポプラ社

辰島に転校して来た灯子と、竜太、勇氣は辰島に三人しかいない中学生。

辰島のことを知ってもらうために、三人で「辰島ニュース」第一号を刊行した。ところが、第一号の刊行に協力してくれた、漁師のトクさんが遭難事故にあってしまう。

三人と、「辰島ニュース」第二号は今後どうなっていくのでしょうか。



『きせきのお花畑』

藤原 幸一 著

アリス館



400年もの間、雨が降らないところもあるといわれている、アタカマ砂漠。

地球上でもっとも乾いたこの大地で、一年に一度だけ、奇跡が起こります。

海からの風によってできた雲が、霧となって砂漠をうるおし、眠っていた植物の種たちを目覚めさせるのです。

砂漠の大地を埋め尽くす、きせきのお花畑を見てみませんか？

『ウェストール短編集 真夜中の電話』

ロバート・ウェストール 作 原田 勝 訳

宮崎 駿 装画

徳間書店

サマリタン協会ではボランティアが毎日、24時間、相談の電話を受けている。ハリーはボランティアのみんなが嫌がるクリスマスイヴに、いつも相談役を引き受けてくれていた。そのクリスマスイヴに事件は起こってしまう。その事件とは？

9つの物語が入った短編集。



『白瑠璃の輝き』

はくるり かがや



国元 アルカ 作

国土社

中学生の拓は、仲間と事件を起こし、祖母が暮らす奈良の中学校へ転校する。

仏像を見た帰りに、ゴスロリ姿の謎の少女と出会い、少女のことが気になり始める。

一方学校では、クラスに馴染めず休みがちな瑠輝と話すようになる。瑠輝もまた、拓と同じく、いとこの悪いグループと離れられないでいた。

『石を抱くエイリアン』

濱野 京子 著

偕成社

あたしの辞書に、「希望」なんてない。中学3年生の市子は、将来の夢がなく、未来に希望を持ってないでいた。

ある時、クラスメイトの偉生に告白される。偉生は「日本一の鉱物学者」になる夢を堂々と語る、ういている男子。とまどいながらも、真っ直ぐな偉生に親しみを感じていく市子。そして、2011年3月を迎える。

